

★ これだけはぜひ守りましょう! ★

## 安全運転のために

★腰ベルトは

いっばいひきだして腰背の位置にピッタリと装着  
しましょう。



腹の位置にかけると万  
一のとき身体に食いこみ危  
険です。

★ヘッド・レストの位置は

ヘッド・レストとの間にはぎりこぶしの幅以上あ  
けないようにしましょう。

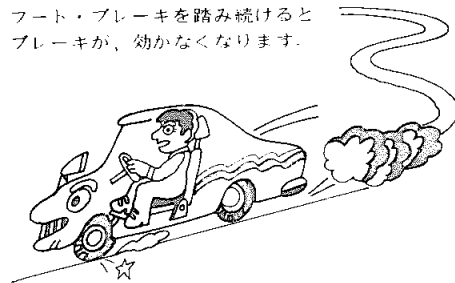


ヘッド・レストとの間  
隔が多いと万一のとき  
危険防止に役立ちませ  
ん。

★長い坂道を下る場合は

エンジン・ブレーキを活用しましょう。

フット・ブレーキを踏み続けると  
ブレーキが、効かなくなります。

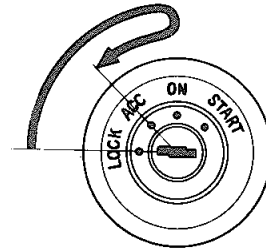


エンジン・スイッチをLOCKの位置にしないでください。  
ハンドルがロックされているとハンドルがきれなくなり危  
険です。

★エンジンを停止して移動する場合は

(けん引される場合など)

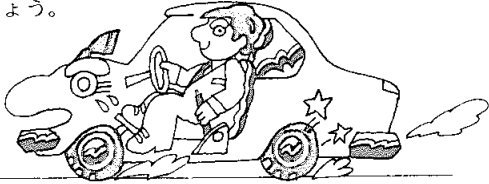
エンジン・スイッチは一度ONにしてからACC  
の位置にしましょう。



LOCKの位置  
にして万一ハン  
ドルがロックさ  
れているとハン  
ドルがきれなく  
なり危険です。

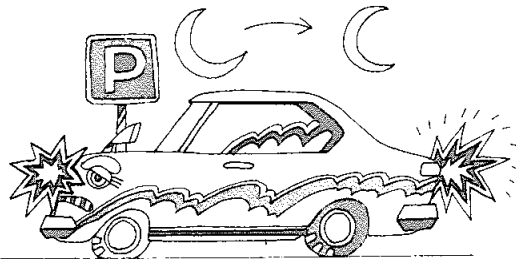
## 故障しないために

★パーキング・ブレーキ・レバーは  
走行する前に必ず確実にもとの位置までもとし、  
インジケーター・ランプが消灯するのを確かめま  
しょう。



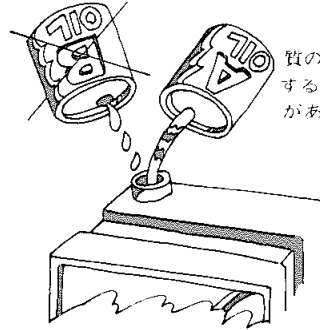
ひいたまま走行するとひきずりを起こしブレーキ  
が効かなくなります。

★ハザード・ウォーニング・ランプは  
1時間以上の連続使用はやめましょう。寒い時は  
使用可能時間が短くなります。



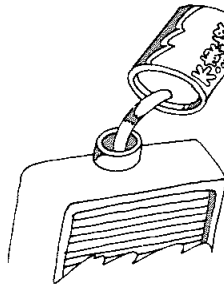
長時間使用はバッテリーあがりの原因になります。

★オイルの補給は  
同品質かまたはそれ以上のオイルを使用しま  
しょう。



質の異なったオイルを補給  
すると性能が低下する恐れ  
があります

★寒冷時になる前にラジエータには  
気温に応じた適当な濃度の不凍液を入れましょう。



不凍液を入れないと水が凍り  
エンジンが破損します。

★ブレーキフルードを補給するときは

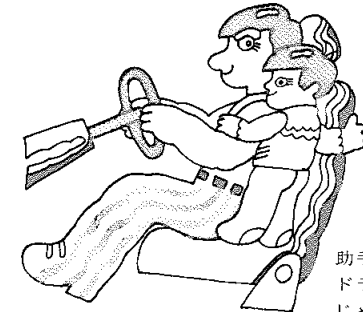


タンク内にゴミがはいらな  
いように充分注意しましょ  
う。

ゴミがはいるとブレーキは効かなくなります。

## お子様を乗せるとき

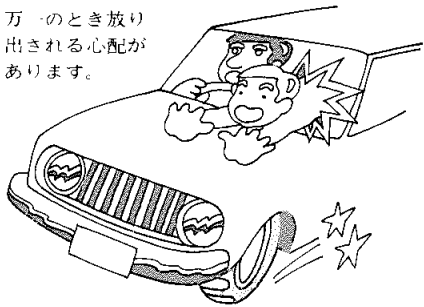
★なるべく保護者と一語にリヤ・シートにすわら  
せましょう。  
助手席ではドライバーのじゃまになり大変危険で  
す。



助手席では  
ドライバーの  
じゃまになります。

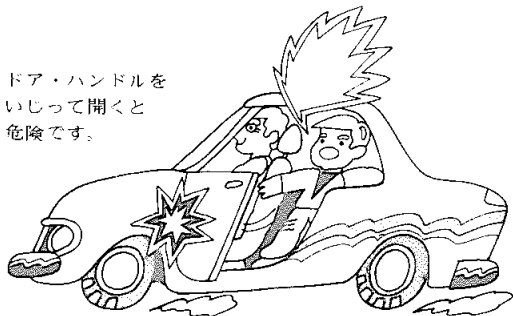
★必ずリヤ・シートにすわらせましょう。

万一のとき放り出される心配があります。



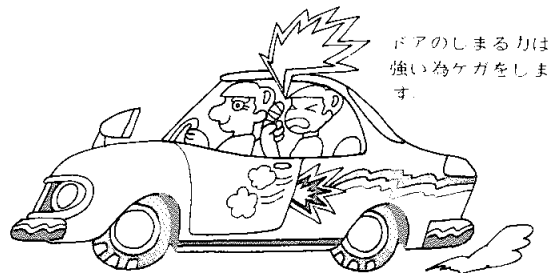
★ドア・ロックは確実にしましょう。

ドア・ハンドルをいじって開くと危険です。



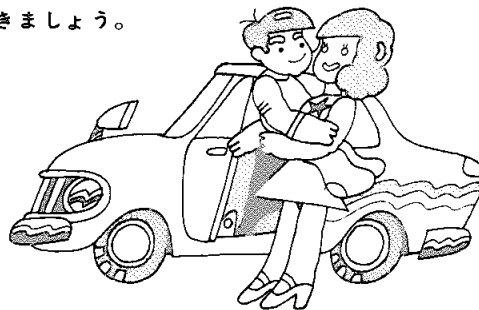
★ドアの開閉で手をはさまないようにしましょう。

必ずおとながドアの開閉をしましょう。



ドアのしまる力は強い為ケガをします。

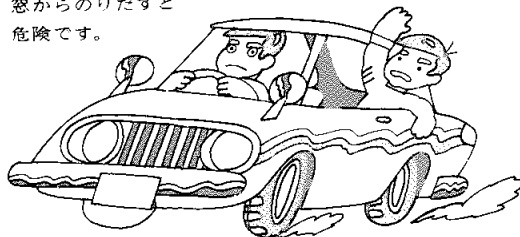
★車から離れるときは、こどもと一緒に連れてゆきましょう。



思いがけない事故が起きる場合があります。

★窓の開閉はおとなの手でしましょう。

窓からのりだすと危険です。

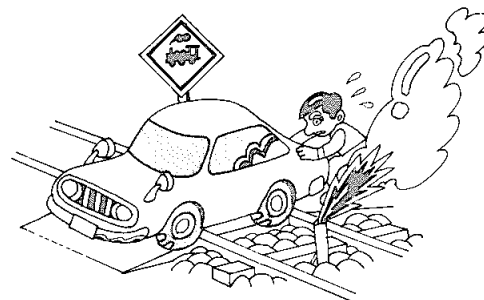


## 緊急処置

★踏切りなどで始動できなくなったときは、スタータで抜け出しましょう。

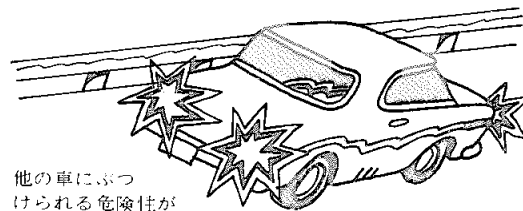
それでもだめなときま踏切に装備されている非常ベルを押すか保安炎筒で合図してください。

大きな事故を起す危険性があります。



★万一、故障したら

車を路肩に寄せハザード・ウォーニング・ランプを点滅させます。



他の車にぶつかけられる危険性があります。

★遠出して万一故障し、なおせないときは整備手帳のサービス網をご覧になって、あなたの車の最寄りの取扱い販売店へ連絡しましょう。

